

平成23年度博物館施設評価シート

施設名 嵐山史跡の博物館

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	A
目標値の達成度(80%以上～100%未満)	B
目標値の達成度(80%未満)	C

数値化共通項目(全館共通)

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	利用状況	入館者	一日あたりの平均入館者数	196人	182人	B	195人×1.01%	
							年間開館日数308日 総観覧者数53,069人	
2	利用状況	常設展観覧者	一日あたりの平均観覧者数	78人	50人	C	80人×0.98%	
							年間開館日数308日 総観覧者数17,880人	
3	利用状況	情報提供サービス	年間レファレンス対応件数	419件	362件	C	541件×0.77%	
4	利用状況	インターネットの活用	年間HPアクセス件数+更新件数	44,762件	234,307件	A	223,810件×0.2%	
							年間更新件数 47件	
5	広聴・広報	事業情報の発信	ホームページ情報発信件数+掲載件数	16件	20件	A	22件×72.8%	
							年間掲載件数 25件	
6	効率的運営	経営努力	観覧料および事業等収入額	1,634,400円	1,452,070円	B	当該年度の予算計上額	
							観覧料498,270円 その他953,800円	

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

必須項目(全館共通)

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	資料の収集・保管	資料の収集	収集方針に基づいた継続的な収集事業の実施	-	件	-	別紙チェックリストによる	
				-	件			
2	資料の収集・保管	資料の保存・管理	適切な保存・管理の実施	17	件	A	別紙チェックリストによる	
				17	件			
3	展示・教育普及	資料の活用	展示・公開・貸出等での資料活用状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				8	件			
4	展示・教育普及	常設展示	来館者に配慮した展示運営	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
5	展示・教育普及	学習支援事業	参加者に配慮した事業運営	9	件	A	別紙チェックリストによる	
				9	件			
6	連携・協働	県民との連携・協働	連携・協働の実施状況	7	件	A	別紙チェックリストによる	
				7	件			
7	調査研究	調査研究活動	活動状況および成果の公開状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
8	施設・アメニティー	快適空間の提供	施設・設備の改善状況	13	件	A	別紙チェックリストによる	
				13	件			
9	施設の活用	施設の利活用	施設の利活用状況	6	件	A	別紙チェックリストによる	
				6	件			

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

館別独自項目

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠 特記事項
				達成度			
1	魅力ある展示	企画展事業の実施	企画展の実施状況	6	件	A	別紙チェックリストによる
				6	件		
2	市町村等との連携	市町村等と連携した事業の実施	連携事業の実施状況	5	件	A	別紙チェックリストによる
				5	件		
3	新規事業への取組	新規事業の実施	地域に遺る文化財を活用した地域振興事業	6	件	A	別紙チェックリストによる
				6	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に遺る文化財を活用した地域振興事業 文化芸術振興費補助金ミュージアム活性化支援事業を導入して、地域の3団体と実行委員会を組織し、能楽ワークショップ「羽衣」、シンポジウム「鎌倉街道を検証する」、バスツアー「鎌倉街道をゆく～沿道の城館跡と宿遺跡を訪ねる～」、文化財ガイドボランティア育成講座を開催し、シンポジウム資料集や、鎌倉街道上道周辺文化財ガイドマップ・文化財解説集を作成した。 ・歴史講座「中世の道 鎌倉街道」と企画展「鎌倉街道をゆく～ひと・モノ・文化～」の開催 「地域に遺る文化財を活用した地域振興事業」に連動して、歴史講座(8回)と企画展(12月10日～2月26日)を開催した。 ・ボランティア体制の整備 文化財ガイドボランティア育成講座の開催を契機に、史跡ガイドや体験学習を補助するボランティアの整備を進めた。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉街道上道とその周辺の文化財が、新たな観光資源として見出され、地域振興に資することができた。 ・地域との連携が図られ、情報発信、普及啓発機能が強化されたことで、博物館を活性化することができた。 ・新年度から新規ボランティアを加え、館跡などの案内や、体験学習補助のボランティアを育成し、館のサービスアップと学校団体利用の受入数を増やしていく準備ができた。

基礎データ

職員数 (学芸員数)	6人 (4人)	総予算額 (人件費を除く)	15,523千円	職員一人あたりの県民人口	119.9万人
収蔵資料総点数	1,623点	事業経費 (上記の内数)	4,427千円	利用者一人あたりのコスト (平成22年度)	312円
平成22年度 収集資料点数	1,623点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	1,734千円 (745千円)	県民人口に対する利用者割合 (平成22年度)	0.7%

※平成23年4月1日現在の埼玉県推計人口は7,198,706人である。

平成23年度 博物館施設 総合評価

施設名 嵐山史跡の博物館

	A評価	B評価	C評価
数値化共通項目	2	2	2
必須項目	8	0	0
館別独自項目	3	0	0
総合評価	79% 【45点÷19項目×3点】×100%		

評価委員総括

評価小委員コメント	<p>館別独自項目3項目のA評価は、実績に見合うものと判断される。ミュージアム活性化支援事業補助金を導入し、限られた人員と予算の中で、地域の市町村や民間団体との連携を軸に館の特性と地の利を生かした事業企画を展開させ、一定の成果を出したことは高く評価してよい。北武蔵丘陵地帯の良質な歴史的景観の保全を視野に入れつつ、鎌倉街道や中世城館跡等を柱とした「地域に遺る文化財を活用した地域振興事業」展開の学術研究センター的機能をより充実発展させることを期待したい。</p>
-----------	---

自己評価総括

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価は79%であった。原因は、常設展観覧者数とレファレンス数の減少が影響した。後者は来館者の要望に応えるものであるため、前者の減少に左右される数値である。 ・歴史講座や野外歴史教室などの多くの教育普及事業では希望者が多く、人気のある事業であった。参加者は抽選会を実施して選定したが、当選者の満足度は極めて高かった。 ・比企地区文化財振興協議会・埼玉城郭探訪会・彩の国 文化の森連絡協議会など多くの外郭団体との連携事業が実施された。 ・ボランティア ティーチャー、サポータークラブなど中高生から大人までのボランティアを受け入れ多くの成果を上げることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数の増加
対応の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア等に積極的に広報を行うほか、地域の市町村や集客施設等と連携してPR活動を行う。 ・新年度から新規ボランティアを加え、館跡などの案内や、体験学習補助のボランティアを育成し、館のサービスアップと学校団体利用の受入数を増やしていく

必須項目チェックリスト

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄	
	個別				
資料の集収	共通	①	資料の収集方針、収集計画が策定されているか	/	
		②	収集方針、収集計画に基づき資料収集が行われているか	/	
		③	特色あるコレクションの形成に努めているか	/	
		④	有形資料に限らず、映像資料や情報資料等も積極的に収集しているか	/	
		⑤	収集した資料についての調査を実施し、調書を作成しているか	/	
		⑥	客観的な評価を経て購入・受け入れをしているか	/	
		⑦	資料台帳が整備されているか	/	
		⑧	収集資料を遅滞なく台帳に登録しているか	/	
		⑨	収集資料ラベルが整備されているか	/	
		⑩	収集資料ラベルが遅滞なく添付されているか	/	
		⑪	資料の基本データが遅滞なく作成・管理されているか	/	
		⑫	収集資料の殺虫処理・クリーニングが適切に行われているか	/	
	個別 (自然)	①	登録分野に基づいた標本化をしているか	/	
②		標本作製途中の資料の管理が適正に行われているか	/		
資料の保存管理	共通	①	収蔵・展示資料の保存管理に関する要項が整備されているか	○	収蔵資料管理要項
		②	収蔵・展示資料の保存管理に関する要項が職員に周知され、それに基づいて資料の保存管理が実施されているか	○	要項副本を職員へ配布
		③	IPMの考えに基づいた資料の保存管理について、最新情報の収集や研修が行われているか	○	東文研の研修受講
		④	資料の収蔵環境は適正に確保されているかたれているか	○	分散収蔵等に対応
		⑤	資料の定期的な点検清掃作業が行われているか	○	IPM実施(1回/2月)
		⑥	有害生物のモニタリングを実施し、その結果に基づき適切な対処をしているか	○	月1回実施
		⑦	資料の殺虫殺菌処理が適切に行われているか	○	忌避剤散布
		⑧	温湿度の日常的な管理・記録化などが行われているか	○	通年測定、記録
		⑨	光量の管理が適切に行われているか	○	適性照明具の使用
		⑩	資料の所在確認作業を定期的に行っているか	○	IPM実施時に確認
		⑪	資料の劣化状況を定期的に確認しているか	○	IPM実施時に確認
		⑫	資料の修復や保存処理等の措置を計画的かつ必要に応じて行っているか	○	修理・修復計画の策定
		⑬	借用資料・寄託資料の更新手続きは適正に行われているか	○	承諾書等の定期的更新

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄
	個別			
資料の保存管理	共通	⑭ 資料のデータベースが整備されるとともに、情報が適宜更新されているか	○	資料目録(エクセルフォーマット)
		⑮ 収蔵庫の入退室管理簿が整備されるとともに、適正に管理されているか	○	収蔵資料管理要項による
		⑯ 収蔵資料の出納簿が整備されるとともに、適正に管理されているか	○	同上
		⑰ 収蔵庫の鍵が適正に管理されているか	○	同上
資料の活用	共通	① 収蔵資料の活用に関して規程・手続きを整備しているか	○	資料特別利用、資料館外貸出規定
		② 収蔵資料の活用に関する手続き等が公開されているか	○	申請書等のWEB公開
		③ 収蔵資料を展示に活用しているか	○	活用点数 323点
		④ 収蔵資料の館外貸し出しに適切に対応しているか	○	貸出点数 0点
		⑤ 収蔵資料の特別利用(熟覧・撮影等)に適切に対応しているか	○	利用点数 1418点
		⑥ 二次資料(写真等)の特別利用(原板使用等)に適切に対応しているか	○	利用点数 4点
		⑦ 資料のデータベースを公開しているか	×	24年度公開予定
		⑧ 公開したデータベースの情報が適宜更新されているか	×	24年度公開予定
		⑨ 収蔵資料をホームページで公開しているか	○	収蔵資料紹介ページ
		⑩ ホームページで公開している収蔵資料情報を適宜更新しているか	○	年1回
常設展示	共通	① 展示関連のサイン・パネル等がわかりやすいか	○	情報量、文字サイズの適正化、アイコンの活用
		② 展示室内に監視員や監視カメラ等を配置しているか	○	受付1人、及び土、日、祝日警備員の配置
		③ 展示情報が適宜修正・更新されているか	○	適宜実施
		④ 展示設備等が適宜点検されているか	○	開館・閉館時の巡回点検
		⑤ 展示ガイド等が作成されているか	○	博物館ガイド等の作成
		⑥ 解説リーフレット等が作成されているか	○	館跡リーフレット等の作成
		⑦ 展示解説等が適宜実施されているか	○	展示ガイドツアーの実施
		⑧ 観覧者アンケートを実施し、満足度等を測定しているか	○	来館者アンケートの実施
		⑨ アンケート結果に基づいた展示改善を実施しているか	○	アンケートの集計・分析
		⑩ 県民に対し展示情報を適宜発信しているか	○	館HP、イベントチラシの作成
学習支援事業	共通	① 事業情報が利用者に広く発信されているか	○	館HP、イベントチラシの作成
		② 多様な媒体による参加申し込みが方法が用意されているか	○	電話、電子申請、往復ハガキ
		③ 多様な参加者を想定したプログラムが用意されているか	○	歴史講座、体験教室、文化財めぐり等
		④ 参加者に対しボランティア等によるサポート体制が整備されているか	○	体験ボランティアの養成・配置

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄	
	個別				
学習支援事業	共通	⑤	事業実施にあたり参加者の安全が配慮されているか	○	サポーターの配備
		⑥	参加者を対象としたアンケートを実施し、満足度等を測定しているか	○	参加者アンケートの実施
		⑦	アンケート結果に基づいてプログラムの開発・改善がなされているか	○	アンケートの集計・分析
		⑧	来館者用の図書・情報コーナーを設けているか	○	資料閲覧コーナー
		⑨	学芸員実習やインターンシップの学生を受け入れているか	○	インターンシップの受入
県民との連携・協働	共通	①	ボランティア制度を導入しているか	○	サポータークラブ、ボランティアティーチャー
		②	ボランティアの活動に関する規程が整備され、適切に運用されているか	○	ボランティア設置要項
		③	ボランティアの募集・認定の規程が整備され、適切に運用されているか	○	ボランティア設置要項
		④	ボランティアの研修システムが確立され、適切に実施されているか	○	ボランティア定例会・研修会
		⑤	ボランティアの活動成果が公開されているか	○	HPで活動紹介
		⑥	友の会、NPO等が館事業に参加する機会を設けているか	○	埼玉城郭探訪会との共催事業の実施
		⑦	地域社会で実施されるイベント等に館として積極的に関わっているか	○	嵐山時代まつり、スリーデーマーチ
調査研究活動	共通	①	調査研究テーマを定めているか	○	館報等で明示
		②	調査研究のための予算措置等に努力しているか	○	予算内でやりくり
		③	調査研究活動を遂行するために必要な専門研修に参加しているか	○	学芸員研修体系による
		④	収集している資料に関連する専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	○	中世城郭や石造物等の調査研究
		⑤	資料の保存・管理、展示・教育普及、博物館経営等の博物館学分野での調査研究に取り組んでいるか	○	研修への参加
		⑥	地域貢献の視点から、館の所在する周辺地域や地域資料についての調査研究に取り組んでいるか	○	中世城郭や石造物等の調査研究
		⑦	学芸員個々の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	○	研究紀要等へ執筆など
		⑧	他館や他機関との間で共同研究等を行っているか	○	シンポジウムや講演会等共催事業の実施
		⑨	調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	○	企画展、シンポジウム、講座等の開催
		⑩	調査研究の成果を、社会貢献の視点から国、市町村、地域社会等にさまざまな形で還元しているか	○	県政出前講座、市町村等への講師派遣
施設・アメニティー	共通	①	施設の維持・改善についての計画を策定しているか	○	予算要求資料の作成
		②	展示室、収蔵庫などで耐震対策を行っているか	○	テグス留め等
		③	危機管理マニュアルを整備しているか	○	危機管理マニュアルを作成
		④	防災・救急訓練等を定期的実施しているか	○	防災点検、防災訓練実施
		⑤	休憩コーナー、授乳コーナー、喫茶コーナー等を設置または状況により対応しているか	○	休憩コーナー
		⑥	レンタル用の車椅子、ベビーカーは整備されているか	○	車椅子

項目	共通	チェック内容	チェック欄	備考欄	
	個別				
施設・アメニティー	共通	⑦	バリアフリー化など、改善必要箇所の把握のため自己点検を行っているか	○	施設整備点検の実施
		⑧	一般駐車場と障害者用駐車場を区別しているか	○	障害者用2台
		⑨	手すり、点字ブロック、音声ガイダンスなどユニバーサルデザイン化への取り組みがなされているか	○	手すり、スロープ、点字ブロック等の配備
		⑩	利用情報や館内サインはわかりやすく表示されているか	○	配色や文字サイズに配慮
		⑪	館内サインの英文標記など国際化への対応はとられているか	○	トイレ等誘導サインの英文化
		⑫	利用実態に応じて開館時間を弾力的に運用しているか	○	夏季開館時間の延長
		⑬	便益施設として利用者数に見合った施設・設備が確保または状況に応じて対応しているか	○	外トイレ、大型バス駐車場の整備
施設の利活	共通	①	施設利用のための要項、マニュアルが策定されているか	○	利用案内、危機管理マニュアル
		②	施設利用のための情報が公開されているか	○	HPで情報公開
		③	施設を一般の利用に提供しているか	○	講座室
		④	施設を学校団体等の利用に提供しているか	○	体験ホール、芝生広場等
		⑤	施設が地域の賑わい創造や活性化に活用されているか	○	ロビー展の開催、嵐山時代まつり会場
		⑥	入館料割引、スタンプラリーなど、他施設・機関との連携を図っているか	○	史跡の博物館年間共通観覧券、JAF優待サービスの導入
	個別(自然)	①	館所有の機器、機材を一般の利用に提供しているか		

独自項目チェックリスト

項目	独自	チェック内容	チェック欄	備考欄
企画展事業の実施	1	① 調査研究の成果を反映した展示となっているか	○	中世に関連した企画展の開催
		② メディアへの情報提供など広報活動は十分行っているか	○	記者クラブやミニコミ誌等への報道提供
		③ 展示図録を作成し、一般に頒布しているか	○	企画展図録の販売
		④ 展示に関連した講演会等が実施されているか	○	シンポジウム、ワークショップ等の開催
		⑤ 展示観覧者アンケートを実施し、満足度を測定しているか	○	アンケートの実施、満足度86%
		⑥ 外部団体の協力を得た展示となっているか	○	比企地区9市町村等
市町村等と連携した事業の実施	2	① 市町村等に対して連携事業の実施を働きかけているか	○	比企地区巡回文化財展の主会場として事業を推進
		② 市町村との連携事業を実施しているか	○	比企地区巡回文化財展の開催
		③ 市町村以外の団体との連携事業を実施しているか	○	埼玉城郭探訪会、中世を歩く会等共催事業を実施
		④ 地域の博物館等と連携して利用促進を図っているか	○	文化の森連絡協議会に加盟し宣伝イベント等を実施
		⑤ 地域の文化財活用事業に協力しているか	○	嵐山まつり実行委員会に加入し、時代まつりの会場提供
新規事業への取組	事業名称	地域に遺る文化財を活用した地域振興事業		
	3	① 新規事業立ち上げに努力しているか	○	申請件数1件
		② 新規事業実施にあたり外部資金の獲得に努力しているか	○	文化芸術振興費補助金 ミュージアム活性化支援事業
		③ 新規事業実施にあたり県民ニーズや時代の要請の把握に努めているか	○	事業目的は地域の文化財を活用した観光振興、地域活性化
		④ 新規事業が館の活性化に寄与したか	○	情報発信・普及啓発強化、新規利用者層の拡大
		⑤ 新規事業が地域の活性化に寄与したか	○	比企地区9市町村等3団体と事業連携
		⑥ 新規事業が館の情報発信に寄与したか	○	新聞4社、テレ玉ニュース